

笠取峠の松並木~ 芦田宿~茂田井間の宿

立科町 (昭和33年(1958)町制施行)

昭和30年(1955)芦田村、横鳥村、三都和村の三村が合併し、立科町が誕生して55周年(平成22年・2010)を迎えた立科町は、山紫水明の風光明媚な山村として、豊かな自然に育まれた人々が静かに暮らす農村地帯です。蓼科山麓から湧き出る恵の水は、質の高い農産物(水稲・リンゴ・牛肉・豚肉など)を生み出し、大地と人々を育み、潤しています。

当町の南端に位置する蓼科山や八ヶヶ峰、女神湖や白樺湖を中心としたリゾート地は、八ヶヶ峰中信高原国立公園内に位置する自然豊かな高原地帯として、四季折々の景観と癒しの空間を満喫いただけます。自然との調和、共生を意識した静かな別荘地域や宿泊施設、飲食店などが、お越しいただいた皆様をおもてなし致します。

大庭史跡公園をはじめ、数々の住居址や祭祀遺跡を有する歴史と浪漫に育まれた文化の香り漂う地域として、太古の昔から続く先人の営みに感謝しながら、人と自然が輝く町づくりを目指しています。

権現山運動公園

野球場・多目的グラウンド・屋内運動場・マレットゴルフ場(27ホール)・テニスコート(4面)・体育センターを有する当町の総合運動施設。風の子広場・権現の湯・子ども未来館(児童館)も隣接し、幅広い世代の皆さんに楽しんでいただけるエリアとなっています。※施設のご利用等は教育委員会へお問い合わせください。TEL0267(56)2311



笠取峠の松並木(県天然記念物)
約1kmにわたる並木は、時代の変遷と旅人を見守り、今日に至る。



笠取峠一里塚
江戸から数えて43番目、頂上手前の北側に標柱と説明板。



ビューポイント①
(浅間山と松並木)



笠取峠
江戸時代には峠の頂上に小松屋といふ茶屋があり、旅人の疲れを癒した。



桜広場と松並木
四季折々の風景が楽しめる場所。



古町のしだれ桜
県道西側の小高い丘に咲くしだれ桜の古木。



神代杉
蓼科神社の御神木で、県下巨樹十指に数えられる。



旧芦田宿本陣
寛政12年(1800)に建て替えられた客殿が、当時の面影を色濃く残している。写真は入口の長屋門。



光徳寺
この一帯を治めた武士芦田氏の菩提寺。不開門の彫刻(立川流)は見事なもの。



茂田井間の宿
格子戸の家が続く、風情ある街並。



茂田井間の宿「石割(原)坂」
急な坂道が続く、街道の難所。



茂田井の桜並木
(至 立科ゴルフ倶楽部)



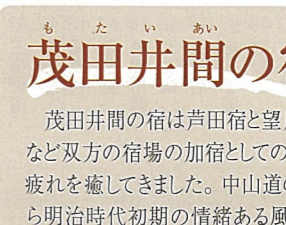
大庭史跡公園
縄文中期から平安時代にかけての住居跡が確認された複数期にわたる遺跡で、発掘後に住居を復元。



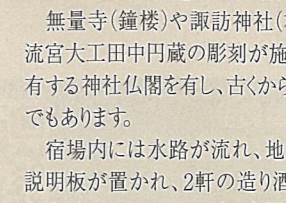
光徳寺のしだれ桜
県道から見えるしだれ桜は美しい花を咲かせる古木。



茂田井諏訪神社
当地出身の立川流宮大工田中円蔵の作である彫刻は見事なもの。



無量寺
長保5年(1003)創建と伝えられる旧寺、表情が異なる六地藏は貴重な石造物。



大庭史跡公園から見る浅間連山と田園風景

※別冊の茂田井間の宿パンフレットもご利用ください。

至 長和町・岡谷市 (中央道)

至 女神湖・白樺湖 茅野市

至 佐久市

●立科ゴルフ倶楽部